

要約筆記って何？

耳が聞こえづらいことにより、コミュニケーションに不自由をしている方々のための、文字による情報支援の活動です。会議やイベントなどで話されている内容を聞き取って、伝えるべき内容を要約して文字にして伝えます。要約筆記の方法としては、ペンで手書きで行う方法と、パソコンでの文字入力による方法の2種類があり、「文字の都仙台」ではパソコンを使っての要約筆記の活動（パソコン要約筆記）をしています。

パソコン要約筆記は、複数の入力者が話し言葉をすばやく入力して、パソコン画面やスクリーンに文字の表示を行います。

情報量が豊富であるため、会議やシンポジウム等での情報伝達に適しているとされます。

なぜ要約筆記が必要なの？

現在、日本国内には聴覚障害者として身体障害者手帳を交付されている人は約36万人（平成25年版「障害者白書」より）います。一方、日本医師会などの報告では、軽度の難聴、ならびに加齢により聞こえが悪くなるなど、障害者手帳は所持していないもののコミュニケーションに不自由を感じている人を含めると1000万人以上にのぼると言われています。

聴覚障害者へのサポートというと「手話」を思い浮かべる方も多いでしょう。しかし、耳の聞こえによる不自由を感じている方の多くは、字幕や筆談、補聴器を利用して音声情報を得ているのです。文字情報の保障は多くの聴覚障害者にとって有用であり、社会参加を後押しするツールとして、非常に重要なものとなっているのです。

要約筆記は、聴覚障害者の社会参加の助けとなることはもちろん、その場のすべての人にとっても有用なコミュニケーションツールです。



特定非営利活動法人
パソコン要約筆記文字の都仙台

E-mail: mmsendai@gmail.com
URL: <http://mojimi.sakura.ne.jp/>

特定非営利活動法人

パソコン要約筆記文字の都仙台

会議やイベントにもっと字幕を！



パソコン要約筆記文字の都仙台について

私たちは、仙台市を拠点に、パソコン要約筆記の活動を行っています。

仙台が「杜の都」と呼ばれることにちなみ、団体名を「文字の都仙台」と名づけました。

聴覚障害者をはじめとして、文字情報があることで社会参加が活発にできるようになり、豊かな生活を送ることができるようになる人は、大勢いらっしゃいます。

「文字の都仙台」という団体名には、「宮城県下をはじめとして、東北各地での文字情報伝達保障に広く貢献できる団体でありたい」という、私たちの強い願いも込められています。

主な活動は、団体・個人から依頼を受けてのパソコン要約筆記(2～4名／1チーム)、要約筆記者養成講座等への講師派遣、聴覚障害者を支援する関係団体との交流・打ち合わせなどです。その他、音声認識システムを活用した情報保障も承ります。

活動実績(2025 年 3 月現在)

- ☆人工内耳や補聴器に関するイベント
- ☆障害者福祉や就労に関するイベント
- ☆県内の聴覚障害関連団体主催の会合やイベント
(ろうあ者新成人を祝うつどい、宮城県聴覚障害者福祉大会、団体の定期総会、定例会議等)
- ☆官公庁が主催する各種のイベント
- ☆県内大学での入学式、卒業式
- ☆仙台市ウェルフェア(屋内開催)
- ☆結婚式
- ☆県内外で開催される要約筆記者養成講座への協力(会員が講師を担当)
- ☆学術分野の講演会・学会
- ☆国連防災世界会議
- ☆とっておきの音楽祭 グランドフィナーレ
- ☆エイブルアート オンラインサロン(Zoom 字幕)
- ☆旧優生保護法裁判 報告集会

<会員募集>

～一緒に活動しませんか～

年会費

■正会員	一般	4,000 円
	学生	2,000 円
■購読会員		2,000 円
■賛助会員	個人	1,000 円／一口
	法人	5,000 円／一口

定例会(練習会)

一般の方の見学、大歓迎です。お気軽に足をお運びください。(事前にご連絡をいただければ幸いです)

■内容(一部)

- ・その月の活動についての報告
- ・1人での入力練習
- ・連係入力(2人1組で連係し文章を入力する方法)
- ・使用ソフトの検証
- ・簡単な手話の学習(活動で聴覚障害者の接する機会が多いため)
- ・福祉や時事問題等についての学習
- ・その他(事務連絡等)

■日時・場所

原則として第2土曜日 10時～11時30分、
または 13時30分～15時

仙台市福祉プラザ(会場変更の可能性あり)

■定例会に持参するもの

ノートパソコン、LANケーブル(ストレートケーブル)

※見学に来られた方には貸し出しします。できれば事前にご連絡ください。



定例会の様子

<パソコン要約筆記を利用したい

聴覚障害者の個人の皆様へ>

要約筆記は、国の制度である障害者総合支援法にも「必須事業」として指定されている福祉サービスの一つです。

聴覚に障害を持つ方で、会議やイベント、病院への通院等の目的で要約筆記を利用なさりたい方は、お住まいの市町村の福祉の窓口にまずご相談ください。「公的派遣」として、聴覚障害を持つ方ご本人の料金負担なく、要約筆記を利用することができます。

<イベント等にパソコン要約筆記を 付けたい団体様へ>

サービスメニュー

◆要約筆記通訳者の派遣

依頼のあったイベント、会議等に通訳者をコーディネートして派遣し、パソコン要約筆記通訳を行います。

パソコン要約筆記の料金

ご利用の際は、情報保障のスタイルや活動時間に応じて料金を頂戴いたします。

詳細についてはお問い合わせください。別途、料金表をお示しいたします。

※聴覚障害者関連団体につきましては、ご予算に応じてできるかぎり対応いたしますので、遠慮なくご相談ください。